



- 1 誓願出陣式挨拶 第 28 期を迎えるにあたり
- 3 今年の 1 文字をつなげました！
- 4 『Air 鉋』はムクの木部の美しさを新品同様に復元してくれる!!
- 8 新連載 躍進が誇る 事業の 5 本柱 ①
- 10 地境を考える

## 誓願出陣式挨拶

### 第 28 期を迎えるにあたり



### 挑戦なくして進化なし

代表取締役社長の笠井正行です。平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。躍進も今期から第 28 期に入りました。来たる 2026 年 2 月 7 日土曜日に「第 28 期誓願出陣式」を開催いたします。

2026 年のスローガンは、「お客様第一主義を軸に、挑戦・変化・大躍進の年！」ですが、これが第 28 期における事業の基本的方針になります。

私たちの仕事は、お客様の心を理解し、常に感謝と誠実な心で対応することが基本です。「できない理由」を探すのではなく、「どうすればできるか」を考え、お客様・お施主様の役に立つことを第一に行動いたします。

見た目の変化（Before/After）で感動を提供することも大切ですが、さらに重要なのは 5 年後、10 年後に感謝される仕事をする事です。コスト（時間・お金）がかかっても、正しいサービスを提供し、適正な報酬をいただくことでお客様に信頼されることにつながります。



挑戦なくして進化はありません。挑戦することで現状の認識・改善ができ進化することができます。現状維持では変化は生まれません。今まで以上のことをする、あるいは今までと違うことに挑戦する。その変化こそが成長に直結します。一人ひとりの成長が会社の大躍進を生みます。

## 魅力ある事業に磨き上げる

いくら良いアイデアがあっても、行動に移さなければ価値はありません。「知っている」「分かっている」「できると思う」で終わらせず、必ず「やる」（実行力）を組織の力にいたします。

そのためには意識改革が必要で、その一助とするため、2025 年より若手社員を主体に、専門の講師をお招きして社会人基礎講座を開講しております。そこではお客様のニーズをお窥いすることをはじめ様々なご指導をいただき、さらに宿題を頂戴し、それに対して私が伴走する形でアドバイスをしております。

このような研修を通して、社員には実践力や継続力を学んでもらえたと手応えを感じている次第です。そして自走できるようになっても、私は常に伴走を継続しながら気付きを与えていかなければならないと気持ちを新たにしております。

また、昨年（2025 年）から準備しているシステム開発、外国人特定技能士採用、そして新たな拠点（栃木県小山市・埼玉県所沢市）の営業所出店に向けて、一人ひとりの役割とリーダーシップが重要になる 1 年です。

さらに、営業部 1 名・技術部 3 名の採用を行い、AR 事業・木材保存工事・防水工事・塗装工事をより魅力ある事業に磨き上げ、お客様から「躍進に仕事を依頼したい」と言われる会社を目指します。

そして組織としての挑戦と変化の 1 つに、塗装事業の内製化を推し進めることが挙げられます。これは 2026 年の大きな課題です。協力業者の皆様のご指導のもとに、社員が施工できる体制を確立する予定です。

このように、今期は挑戦と変化を徹底し、より一層のお客様第一主義を貫き通す所存です。全社一丸となって邁進いたしますので倍旧のご最良をよろしくお願い申し上げます。

---

### 今年の 1 文字をつなげました！

躍進は毎年、社員に対し今年の決意表明として、それを漢字 1 文字で表しています。2026 年は以下の通りです。

笠井輝夫会長「**盤**」、笠井正行社長「**軸**」、笠井取締役「**補**」、三塚正樹部長「**粹**」、宮内淳一郎部長「**結**」、関雄介取締役「**決**」、松原詢樹主任「**礎**」、笠井美咲「**育**」、木暮信良「**進**」、白石純大「**律**」、宮崎陽平「**整**」、周偉健「**力**」、渡邊裕子「**健**」、馬場希「**結**」、橋本侑典「**粘**」、水野千遥「**千**」一となります。そしてこの 16 個の文字をつなげて、以下の標語を作ってみました（「**結**」と回答した者が 2 人いますので、実質は 15 文字です）。

中小企業における安定した経営**基盤**の実現には、一騎当**千**の**力**を発揮する人材を**育**てることが第一です。そのためには経営理念の**軸**足がぶれないように**整**え、各々の強い**決**心のもとに、常に心身の**健**康を保ちながら、物事の**基**礎を**粘**り強く体に叩き込むことです。

さらに自分を厳しく**律**し、仕事に対する**純**粋な気持ちを持って、お互いの足りない部分を**補**いながら、その**結**びつきを大事に**前**進していくことでビッグウェーブが起き、社業の発展につながることを忘れないでください。

---

埼玉県神社庁 武田淳参事に聞く。

## 『Air 鉋』はムクの木部の美しさを 新品同様に復元してくれる!!



「新品以上に見えます！」



**上の写真**は、2025 年 1 月 17 日に、埼玉県神社庁で実施された躍進が誇る木部再生技術『Air 鉋』の施工実績（施工前、施工後）です。**左写真が木板表札、中写真が玄関天上、右写真が玄関引き扉**です。もちろん汚れている方がビフォーで、きれいな方がアフターです。

このムクの木部の再現実績について、埼玉県神社庁の武田淳参事（表題写真 以下、武田参事とします）から、「この仕上がりの印象について、まさに新品同様に復元してくれたと感謝しています。また個人的な感想を申し上げれば、新品以上に見えるくらいです！」と最大級の賛辞をいただきました。

そんな武田参事に、全国の神社が抱える社殿の汚れの課題解決や、民間企業との連携における『Air 鉋』の優位性などについて様々にお聞きしました。

## 神道が抱える大きな問題

— 一般に神道といえば、「すべてのものに神宿る」という考えを基本に、天照大神様は皇室の祖先神であり、我々日本人にとって最もなじみ深い宗教ですが、その普及についてど

のようにご尽力なされていらっしゃると思いますか。

**武田参事** 私は現在、神道に関する講座を受け持たせていただいております。そこでは「神道は難しい」と述べ、その理由の 1 つには、教義・教典がないことをあげています。さらに宗教よりも文化と捉える人が多く、生活様式の一部であったこともあります。そのため言語化の必要性を感じない伝統も重なったため、一部で誤った知識や情報が氾濫しておりますので、積極的に正しい知識を発信していかなければと思っています。

— 宗教よりも文化と捉える人が多いほどに、我々日本人の心の拠り所になっている神道が抱える問題を教えてください。

**武田参事** 地元埼玉県に関して言えば、日本の縮図のように、都心部と過疎化が進んだ地域の 2 つがあります。その中でも、過疎化が進んだ地域では、神社をきれいに維持していくことが難しい現状です。半面、都市部でもいわゆる“信仰の過疎化”が進んでおり、神社の統廃合も過疎化が進んだ地域よりも多いくらいです。有名な神社であればよいのですが、地元の小さな神社に対して興味を示してくれないようです。むしろ過疎化が進んだ地域のほうが信仰心は残っているようです。

— 神道の窓口である神社の社殿などが、土まみれ、埃まみれになっている現状を早急に対応・解決すれば、お参りしてくれる人も増えるのではないのでしょうか。

**武田参事** やはりお参りしてくださる方がいらっしゃらないと、社殿などを維持する財源を確保することが難しいのです。現実的な問題を考えるにあたり、古くなった社殿を建て替えたいと思っても、予算が合わない場合は、『Air 鉋』のような技術を採用することは非常に有効であると思います。社殿だけでなく、神社全体がきれいになると、自然と人も集まります。

## 「まさかここまで……」

— 2025 年 1 月 17 日に、埼玉県神社庁で実施された『Air 鉋』の施工実績について、「個人的な感想として新品以上に見える」とお褒めの言葉を頂きましたが、見た目の美しさについてどのようにお考えですか。

**武田参事** やはり現しとなっている木部がくすんでしまった場合、どうしたら元に戻せるのか悩んでいました。そのようなときに、『Air 鉋』のご提案をいただいたので、その仕上がりを見て「まさかここまで……」「素晴らしい輝きだ」、そして思わず「新品以上に見える」と率直に感想を述べた次第です。



## 「浄く明るく」は神道の基本理念

— 弊社のような技術を所有している民間企業との連携についてどのようにお考えですか。

**武田参事** 神社庁や各地の神社様だけでは、できることは限られてしまいます。氏子様のボランティア活動だけでは補えない部分もたくさんあるので、技術力のある民間企業の皆様とは積極的に付き合いしていきたいと思っております。

— これは全国の神社様の共通課題だと思うのですが、そうした情報を共有するシステムの構築についてどのようにお考えですか。

**武田参事** 現在、システムとしては存在していないのですが、それ以前に社殿をはじめ、神社をきれいにすることは、神主の共通理念なのです。実は神主には免許に階位があり、上から「浄階、明階、正階、権正階、直階」の 5 つに分かれています。「権（ごん）」は「副」と同様の意味に捉えてください。つまり浄（きよ）く、明るく、正しく、直くとなります。これは神主の基本、あるべき姿です。これを社殿に対して体現してくれた『Air 鉋』は、まさに浄く、明るくしてくれる技術と認識しました。

— 社殿にも色々なスタイルがありますね。

**武田参事** 確かに社殿の姿も土地によって違うのです。例えば埼玉県県北では漆を塗装した社殿が多い半面、県南では塗り物をしていないムク材そのままの社殿が多いのです。そうしたことを踏まえると、『Air 鉋』は、県南地域などでは、社殿を浄（きよ）く明るくしてくれる有効な技術だと思います。

— 『Air 鉋』は空気圧を利用した鉋であるため、大工職の方でもなかなか出せない数ミクロンという削りが可能なのです。お寺様も含めまして、同じお悩みを抱える全国の神社様にご利用いただきたく願っております。

**武田参事** 同じムク材でも、社殿の彫刻に対して『Air 鉋』を用いるのには、少し勇気がいると思います。しかし、ご利用になった神社様のお声によれば「まったく問題はない」とのことで、非常にびっくりしています。

## 洗剤のすすぎが甘いとカビやシミになる

— 『Air 鉋』は、ムクの現しの部分に関しては最適な復元技術だと思うのです。神社様をお清めする際に、氏子様がボランティアで水や洗剤を用いて社殿などの清掃をしてくださっても、すすぎが甘いと残った洗剤が栄養分になり、カビやシミ、コケの元になってしま

うからです。

**武田参事** 確かに削ることが、カビやシミ、コケを取り除くには一番有効だと思いました。しかし「いったいどのくらいの厚さを削るのだろう。どの程度の効果があるのだろう」と半信半疑だったのも事実です。しかし数ミクロンという非常に薄い幅で削ることで、「新品以上に見えるくらいだ」と非常にびっくりした次第です。

— ご利用いただいた神社様でも、特に高圧洗浄を用いて、その結果あまりうまくいかなかったケースでは、特に『Air 鮑』に大きく期待してくださっております。

**武田参事** あくまで社殿であるため、一般の木造住宅以上に木の温もりにこだわり、ムク材の現しで建立することになるのです。今回は埼玉県神社庁の事務局入口周りの施工でしたが、社殿同様にムク材の現しで仕上げたのです。しかし新築当時は、どの程度経年変化するのかは想像がつきませんでした。

— くすんでいくご様子をご覧になっていて、ちょっとご心配になったりしましたか。

**武田参事** 新築時を知っているだけに、まさかこんなに土まみれ、埃まみれになるとは思いませんでした。しかし「これがムク材の宿命なのかな」と諦めてもいたのです。今回、削るといわれた時、「いったいどの程度の厚さを削るのか」と心配していたのですが、まさか数ミクロンとは驚きでした。つまりもし同様の施工を再びご依頼しても、外観上にまったく変化はないわけですね。それで新築時の状態に戻せるのなら満足です。

— 武田様から開口一番に「新品以上」とお褒めの言葉を頂いたとき、これ以上の好評価はないと感じ入った次第です。そして地元の皆様の心の拠り所をきれいにすることは社会性の確保にほかなりません。そのお気持ちを、何らかの形で地元埼玉をはじめ全国の神社様に発信していただきたく存じます。ぜひお力をお貸しください。

**武田参事** ここは地元埼玉の情報発信拠点なので、まずはここへお越しいただいて、実物をご覧いただくことが一番の情報発信だと思います。

— まさに「百聞は一見に如かず」ですね。本日は貴重なお時間を拝借しお話を伺わせていただきまして心より感謝しております。ありがとうございました。

☆

☆

## 躍進が誇る 事業の5本柱 ①



笠井輝夫  
(株)躍進代表取締役会長

弊社の経営理念である「躍進 5 原則」は、自分を円の中心に取り巻く円環である家族、社員仲間、協力業者、仕入れ先、お客様の円環を指しますが、同じように躍進が誇る事業も 5 本の柱で成り立っております。それは、①木材保存と『Air 鮑』、②防水、③外壁洗浄・塗装、④リフォーム、⑤住まいの点検—の 5 つです。

そして今回より、この 5 本柱について改めてその詳細をお伝えすべく、5 回に分けて連載させていただくことになりました。まずは第 1 回目となる本号では、木材保存と『Air 鮑』をご案内いたします。

### 木材を腐朽や虫害から守る

まず、木材保存事業ですが、文字通り木材を腐朽や虫害から保護し、その耐久性や利用価値を向上させることが使命責務です。主な目的は、木材の寿命を延ばすための処理技術を提供することです。

木材は自然環境や災害だけでなく、シロアリをはじめとする害虫の影響により腐朽しやすいものです。虫害や腐朽をそのままにしておけば、木材の耐久性や利用価値が低下してしまいます。そこで専門的処理技術により、木材の耐久性を向上させ寿命を延ばしております。

それはまさに、持続可能な資源利用に大いに貢献するものです。主に有効な薬剤散布を実施し、これにより防腐剤が木材の細胞に浸透し虫害や腐朽から保護します。処理された木材は長期間にわたって耐候性を保持し寿命が延びるのです。

こうした技術を裏付ける専門知識と、それを実践する経験豊富な専門家チーム（木材保存士・木材劣化診断士）による処理技術の提供により、カスタマイズされたソリューションが実現しています。



特に品質の確保に基づく信頼は、常に高品質な処理技術を提供しお客様の信頼を得てきた証でもあります。お客様の満足度は常に向上し、高い評価と継続的な取引の拡大を実現しております。

こうして持続可能な木材利用に貢献することで地域社会へのプラスの影響をもたらします。おかげさまで拡大する市場に対応し、事業の成長を継続させることができます。

## 神社仏閣の木材保存にも注力

躍進は神社仏閣の木材保存にも注力しています。神社仏閣を形作っているのは自然素材であるため、その耐久性や保存に関する課題が存在します。なぜならそれを形作る木材は自然素材であり、腐朽や虫害などの影響を受けやすい傾向があるからです。建物が老朽化や劣化してしまうと、信仰の対象としてのイメージダウンにつながります。

しかし、『Air 鉋』は、**水や洗剤を使わずに施工し神社仏閣の美しさを取り戻す**ことができます。これは、空気と植物性粉体を対象物に噴射し汚れや劣化層、古くなった既存の塗膜を数ミクロン単位で削り取るなどを施し、美観の再生や木材の長寿命化を目的として開発された乾式工法です（特許第 6206898 号）。植物性粉体の種類や圧力を変化させることで「**払う**」「**削る**」「**剥ぐ**」「**粗す**」の 4 役を 1 台で行うことができます。

「**払う**」は、垢や汚れを刷毛のように優しく払うことができます。強弱は無段階に調整ができるため、繊細さを要する彫刻や重要文化財にも採用されています。「**削る**」は、木材の表面を数ミクロンから数センチまで削ることができます。劣化層やカビ・木材腐朽菌の除去、浮造り加工などの意匠性に対応できます。

また「**剥ぐ**」は、基材を痛めることなく既存の劣化塗膜を剥離できます。複雑な形状でも短時間できれいに剥離が可能です。「**粗す**」は、水性塗料による塗装の付着強度を高めるための、木材の表面を粗すなどの下地処理（足付け作業）が行えます。

多くの神社や寺院では、氏子様や檀家様がボランティアで水洗いやカビ取り剤を用いて拝殿等の壁面を洗浄しています。しかし**洗剤のすすぎが甘いと、残った洗剤が栄養素になって、余計にカビが発生しやすくなります。**

しかし、空気による乾式工法であれば、前述の「払う」「削る」「剥ぐ」「粗す」により、カビの再発を防ぐことができます。

詳細は、躍進のホームページをご覧ください（[https://yakushin.jp/air\\_kanna/](https://yakushin.jp/air_kanna/)）。ご連絡をお待ちしております（**本誌 4～7 ページのインタビュー記事もご覧ください。**）。

## 地境を考える 住宅コラム

境界塀を設けるときに、いろいろな話し合いが持たれますが、古くから良好なお付き合いのお隣りさん同士であれば、地境の境界線が境界塀の中心に来るよう、お互いの敷地を半分ずつ提供するのが一般的です。もちろん境界塀の建設費用も折半で合意します。これは昭和の時代では当たり前でしたが、令和の現在も変わらないようです。

しかし分譲住宅や投資型マンションの場合、かならず自社側の敷地内に境界塀を設け、建設費用も賄うものです。理由は、「境界塀も商品の一部」だからです。

ここで問題となるのが、古い境界塀の撤去です。中にはこれに対して、お隣りさんが合意してくれないケースが少なくないからです。「別にわざわざ壊すことはないじゃないか」というのが、お隣りさんの言い分です。

しかし分譲業者側とすれば、古臭い塀に囲まれ、しかも見ず知らずのお隣さんと塀の権利関係が残っている物件だと 100% 売れません。そのためなんとしても境界塀の解体撤去・新設に合意をしてもらわなければならず、非常に苦心していらっしゃるようです。中には分譲業者の足元を見て、不当な要求をしてくるお隣りさんもいるからです。

一般的なお隣りさんの言い分としては、「境界塀といっても、新しくお住まいになるお隣りの財産だから、下手に疵（きず）をつけてしまうと何を言われるか分からないから、同等の立場でいたい」という言い分が圧倒的に多いようです。

これに対して分譲業者側は、「多少の瑕疵については一切責任を問わない」旨の覚書を交わすことで難局を乗り切ろうとします。それに対して工務店様やビルダー様は、お施主様の敷地に余裕がある場合であれば、お施主様側にも同等の塀を構築することが一番安心であることをご提案したほうがよろしいかと思います。

境界塀の地上部分はブロックが 120 センチ以上であれば構造計算を義務付けられているため、現在では塀の上部がアルミフェンスなどであるものがほとんどです。都心部では境界塀同士の隙間を 5 ミリほど確保し、お互いの塀が並立しているケースが山ほどあります。いずれにしてもお施主様が抱えている、お隣さんから「塀に疵をつけてしまうと何を言われるか分からない」という不安を解消することが大事であることを忘れないでください。

<b>株式会社</b> <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">躍進</span>	関連会社 <b>株式会社</b> <b>ヤクシンジャパン</b>	<b>事業内容</b> 防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、 ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、 ビンニング、シングル葺き 木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除 及び予防、調湿剤、床下換気 等 塗装工事：各種塗装 外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、 外壁 等診断
本 社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615 東 京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542 URL= <a href="http://www.yakushin.jp">http://www.yakushin.jp</a> E-mail=yakushin-no1@nifty.com	関連会社 <b>株式会社</b> <b>First Arrows</b> <b>ファーストアローズ</b>	